

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和4年11月21日

第 155 号

発行：福住地区まちづくり協議会
〒669-2513 丹波篠山市福住 342
TEL&FAX：079-557-0116
メール：fk.machikyo@gmail.com
http://fukusumiweb.tanbasasayama.com/

皆既月食・天王星食

11月8日(火)の夕方からの「皆既月食」。みなさん、ご覧になりましたか？午後7時過ぎから午後9時前まで見ることができましたね！



「天王星食」が同時に起こる珍しい天体ショーが見られるのは442年ぶりだったらしいです。

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

SHUKUBA 加工所 daidocolab. (だいでこらぼ) では、ご好評いただいております製粉機を使った米粉加工を承っております。(1kg から) 希望者の方には真空パックにてお渡ししております。

- 加工賃：1kg あたり 420 円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話 (080-9534-4275) まで
- 営業時間：月・水・木・金曜日の9時～17時

「米粉の日」を毎月第4月曜に定期開催します！

11月は28日(月)、12月は19日(月)開催予定です。



11月13日(日)、春日町文化ホールで「民族芸能祭 in ひょうご」が開催されました。県内の団体による貴重な民族芸能が披露される中、丹波篠山市の代表として、福住上区の「水無月祭鶴寿山打込囃子保存会」のみなさんが出演されました

水無月祭での演奏が3年中止のため、早くから練習を開始。若いメンバーも増え、当日は男女12名が参加。保存会のメンバーは「久しぶりの演奏で緊張しましたが練習の成果が発揮できました。」「微力ではありますが継承しながら披露する場を持つことで、祭り・地域に興味を持っていただき、そしてこの福住全体が発展するきっかけになればうれしいです。」とおっしゃっていました。

どの団体も人口減少による保存会メンバーの高齢化や減少が課題のようです。

3年ぶり「雪花火」 やります！ =若手グループ「ツギテ」 企画進行中=

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止が続いていた真冬のイベント「雪花火」。

これまでまち協の2030プロジェクトが実施してきましたが、今回から若手グループ「ツギテ」のみなさんの企画により実施する予定で準備中です！

実施時期は、いつもの「2月」の予定。

もちろん「花火」「フライングランタン」もやります！

詳細が決定了ら、広報「福住さとねっと」等でお知らせします！お楽しみに！



一本杉販売所だより

みなさん、こんにちは！

今日は雲一つない秋晴れの晴天ですが、明日は雨の予想が出ています。丹波特産黒豆の収穫が近くなってきました！

畑を見ると、農家さんでは豆の葉取りの段階へ作業が進んでいます。

大根・かぶら・チンゲン菜・つるし柿・柿・里芋・銀杏・など、丹波篠山産の農産物が沢山ありますよ。

農家レストラン福住では、安くておいしい手作り弁当の大量注文が連日あり大人気です！

お店に並んでいるのは少しですが、ご用命があればご連絡ください。

最後に、篠山の紅葉も今が見どころですので、写真で少し紹介します🍁🍁🍁



SHUKUBAオープンデー開催！！

10月22日(土)、23日(日)の2日間、SHUKUBAテナントを公開する「SHUKUBAオープンデー」を開催しました。

22日は午前中、伝建地区の火災防ぎょ合同訓練があり、午後からの開催となり、来場者は60人～70人でした。23日は天気も良く、朝から、マルシェのパン屋、雑貨さん等に早速の人盛りから始まりました。来場者は約200人でした。

テナントの見学者様へは、写真家ギャラリー、皮細工工房、丹波木綿工房のそれぞれから事業内容等の紹介や説明をしていただきました。「これはどうして作るのですか？何年この仕事をされているのですか？」と言った質問等に丁寧に答えられていました。見学者様からは、「作業風景が近くで見ることができて楽しかった」等、写真、皮細工、木綿の1つ1つの作業工程に工夫や、汗が滲んでいる様子を作家さんから感じられたようでした。

22日は1階カフェで「ミツロウハンドクリームづくり」が「カフェ・ノウム」のコーヒーやケーキとのセット付で行われ、特に女性の方に人気があり、ハーブの香りに包まれて幸せを満喫していました。今後も定期的に「ミツロウハンドクリーム作り講座」を開催される弾みになったようです。

2階の教室では書道教室があり、受講生が筆を滑らかに運ばれ、更なる腕を磨かれている様子でした。23日の2階の教室では「アロマセラピー講座」があり、肩、腕、足のマッサージを受けながらのアロマの香りに、一瞬の安らぎを感じる時間を体験したとの感想をお聞きしました。

2階展示室では、廃線となった国鉄篠山線福住駅周辺ジオラマ、水無月祭りや八朔祭り、多紀地区内の祭りの山車のミニチュア作品が賑やかに展示され、展示担当者の丁寧な説明にも聞き入っていただき、2日間で80名の見学者が来場され、それぞれの作品に感嘆となつかしさの感動の言葉が交わされていました。

体育館では調律したグランドピアノの無料開放に、それぞれの方がお好みの曲を自由に弾かれ、体育館にピアノの音色を奏でられていました。また、その傍らでは、子どもたちがしっかりと遊びまわっており、昔の福住小学校の思い出が蘇ったひと時でした。玄関前マルシェで販売したゆがいた黒枝豆やおでんと地ビールで、日頃の疲れをいやしていただいた方にも喜んでいただきました。

今後も年に2～3回はオープンデーを開催したいと思っています。「ニュー(新)とオールド(昔)の福住」を再発見する機会にさせていただけたらと思います。乞う、ご期待下さい！

市実行委員会が再開！

= 全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会 =

去る11月2日(水)丹波篠山市大会に向けて、市実行委員会が開催されました。

この日の実行委員会では、①役員選出 ②開催方針 ③今後のスケジュールなどについて協議。細部については、今後逐次取り組んでいくこととなりました。ただし、この日が取り組みのスタート時点ではなく市教育委員会事務局では、すでに会場仮予約・宿泊施設仮押さえ・旅行業者協議・参加募集事務委託協議・当初予算要求案の作成準備など膨大な事務事業が進められています。

福住地区実行委員会も市実行委員会の開催に先がけて7月28日(木)から活動を本格的に再開し、毎月20日を実行委員会開催日として活動しています。

11月20日(日)に開催しました第5回実行委員会では、市実行委員会と歩調を合わせながら行政が担当する事項とは別に、住民が担当する事項について積極的に進めることとして企画・総務・事業の各部会の担当項目について進捗状況の確認、課題及び問題点等の洗い出しを行い解決に向けて取り組んでいます。

丹波篠山市大会まであと6か月。福住地区の皆様をはじめ、大会を支えていただく関係機関の皆様、大会の成功を見守っていただいている多くの方々には、さらなるご理解、ご協力をお願いいたしますが、どうぞよろしくお祈りいたします。



集落だよりNo.11～川原(かわら)～

福住地区各集落の取り組みや行事などの集落情報をお伝えする「集落だより」。

今回は、川原自治会長の杉田和博さんから投稿いただきました。

《「亥の子」復活大作戦！！》

「亥の子のぼたもち祝いましょう
金はわくやのじん
おみさん お神酒
を供えて祝いましょう
そらもひとつおまけに祝いま



しょう」6人の子どもたちは各家の前で「亥の子」の歌を歌いながら、藁で作ったペタンコを地面にたたきます。

少子高齢化とともに川原から「亥の子」が消えて十数年。子どもの声や姿が減っていくことは寂しいものです。川原を元気にしようと「亥の子」の復活を計画しました。子ども・保護者から理解を得たり、事前に歌やたたき方の練習をしたり、ペタンコを作ったり、多くの人たちに協力をさせていただきました。11月5日(土)午後3時出発、約1時間をかけて25軒を回りました。村の人たちは子どもたちを笑顔で温かく迎えてくださり、子どもたちは各家からいただいたご祝儀やお菓子、玩具などに大喜びです。

子どもは村の宝です。子どもが生き生きと活動できる場や雰囲気づくりは村の活性化につながると思います。